



夢・いっぱい

第11号

令和元年10月1日

○ 2019年度の経営方針：今日の学び合いを楽しみ、明日が待ち遠しい学校づくり

～ 学校・家庭・地域が連携・協働して、学びと育ちを保障する ～



一人ひとりの子どもに保障する、学びと育ち

～ そして、少人数（ペア・グループ）という居場所の中での学び合い ～

校長 世良 泰章

〈よのなかルール2〉

すぐに「きれい」「苦手」と言って自分の世界をせばめない。

「よのなかルールブック」高濱正伸 監修 日本図書センター

10月に入ります。社会科の中国大会まで、あと1か月です。本校児童に付けたい力の一つが、「前向きさ」「意欲」だと考えます。これは、次項目の「体力」の状況ともつながります。

今、校長室で「よのなかルールブック」を読み語りしています。多様性やグローバル化の進展が本校の自慢ですが、だからこそ確固とした「軸」が必要だと思えます。

学びから逃げさせない、また、一人ではなかなか学べない子のためにユニバーサル・デザインの考え方から「少人数」という居場所を作る、これこそ本校が今、授業改善として社会科を中心に取り組んでいる教育活動です。学びと育ちを保障する中での、子どもの姿を公開したいと考えます。



【2年:グループで昆虫の観察】

☆ 本校の体力の状況について（5～6月 5年「体力調査」の結果から）

〈全国の平均との比較〉

項目		男子	女子
(筋力)	握力	△	△
(筋持久力)	上体起こし	△	△
(柔軟性)	長座体前屈	△	△
(敏捷性)	反復横跳び	▲	▲
(全身持久力)	20mシャトル	▲	▲
(走力)	50m走	△	△
(瞬発力)	立ち幅跳び	○	▲
(巧緻性)	ソフトボール投げ	△	△

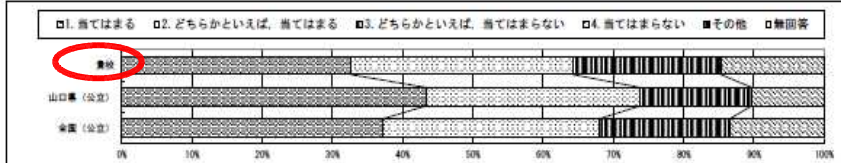
5年生の児童から見取れる本校の体力については、全体的に大変低いと言えます。

特に、男女とも「敏捷性」や「全身持久力」に課題があります。また、体力合計点全体から見ても、女子に大きな課題が見られます。

体力についてのアンケート調査において、本校児童は「週に全く遊ばない」という回答が多いのも気になるところです。本来遊びは自由なものなのですが、体育委員会を中心に今後取り組みます。

☆ 6年 4月 学習状況調査（質問紙）から見取れる本校児童の意識について①

質問番号	質問事項										
(23)	今住んでいる地域の行事に参加していますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	32.6	31.6	21.1	14.7						0.0	0.0
山口県(公立)	43.3	30.5	15.9	10.3						0.0	0.0
全国(公立)	37.2	30.8	18.6	13.4						0.0	0.0



子どもたちに「地域への関わり」を問う質問ですが、全国や山口県と比べて肯定的な回答が低いと言えます。

コミュニティ・スクールとして、夏祭りやとんど焼き・クリーン作戦等のボランティア活動を意味付けてきたのですが、まだ不十分のようです。

ご家庭でも声かけをお願いします。

〈10月の口座振替日〉

10月28日(月)

10月は、上記の日が口座振替日になっています。

残金の確認や入金等をよろしくをお願いします。

☆ フレンズ（愛宕小通級指導教室）で生き生きと

4月に新しく本校に設置された通級指導教室。「フレンズ」という素敵な名前で、多くの児童が個別に学んでいます。

通級担当の先生は児童一人ひとりに寄り添い、ソーシャル・スキル・トレーニング等、その児童に必要なプログラムを設定しています。保護者相談もできますので、ぜひご利用ください。

